広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話 ②0597番

ユニークな学校に
建設進む 町見中学校

初冬の光を浴びて、いま町見中学校舎の建設が二月中旬完成をめざして、着々と進んでいます。

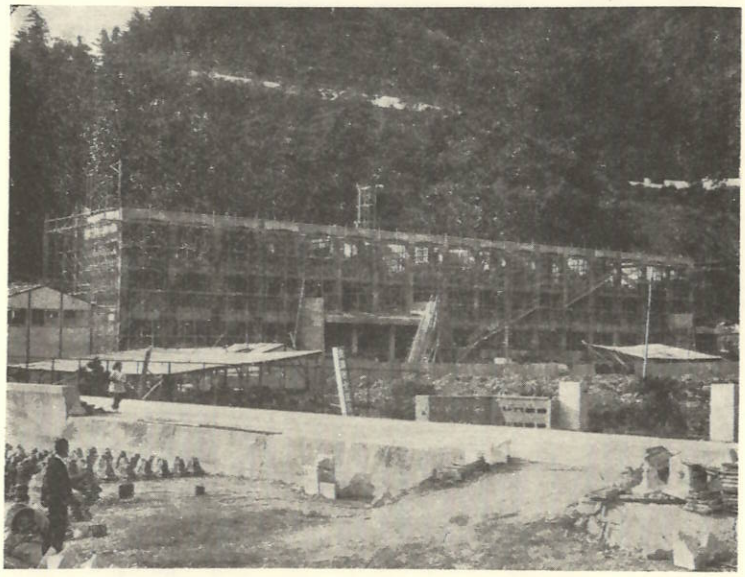
町内で初の鉄筋コンクリート三階建の校舎。

長さ六十八メートル、幅九メートル、高さ十二、三メートル、延面積二千平方メートルを有し、総工事費一億一千三百二十五万円（視聴覚教育のためのアナライザー、LL装置導入費、改築による関連工事費含む）の巨額を投じての建設です。

同校の校舎改築は、地盤が軟弱な関係上、長さ十五メートルのコンクリート製基礎杭百十八本を打ち込み、特殊な基礎工事で施工され、町見中学校がユニークな学校になり衆議院議員の選挙は、十一月二十日に公示され、十二月十日国民審査もあわせて行なわれることになりました。

工事は現在、三階まで型枠が組み終えており、教育の殿堂にふさわしい風格がでてまいりました。

郡内では、はじめてのアナライザー、LL装置が導入される一方各教室には騒音防止のため、吸音テックスがついており、生徒たちが静かな教育施設環境の中で、勉強ができるようにと工夫されており、町見中学校がユニークな学校に生まれかわろうとしています。



＝教育の殿堂にふさわしい明るく近代的センスの建物に変容しつつある町見中学校校舎＝

衆議院議員選挙

投票日 十二月十日

この一票 政治と 暮らしを 結ぶ橋

いよいよ、衆議院が解散になり衆議院議員の選挙は、十一月二十日に公示され、十二月十日国民審査もあわせて行なわれることになりました。

そこで、わたしたちのくらしと密接な関係をもっている選挙が正しく行なわれるため、また、たい身の目、耳で確かめ立派な代表をせっなわしたちの一票が無効になったり、棄権されたりすることのないよう、衆議院議員の選挙を紹介することにしよう。

こんどの選挙は、衆議院議員の選挙のほか、最高裁判所裁判官の国民審査もあわせて行なわれます。

フェア精神のもと義理や人情に左右されることのないよう自分自身で、耳で確かめ立派な代表を選びたいものです。

開票は即日開票

開票は即日開票で行なわれます。

投票するためには選挙権を有していることはもちろんですが、永久選挙人名簿に登録されている人、そして選挙のつど行なわれる臨時登録に該当し、登録されていなければなりません。

投票時間
朝七時から 夕方六時まで

投票は、投票日当日朝七時から夕方六時までに、それぞれの投票所へでかけて自分で投票するのが原則です。

しかし、有権者のなかには、町外に仕事をもっているなど、いろいろな事情で当日投票できない人たちの一票がムダに捨てられることのないよう、前もって投票できるよう特別に設けられているのが不在者投票の制度です。

旅行する人などに「不在者投票」

不在者投票するためには、つぎのような事由で、選挙当日投票できない場合に限ります。

①投票日に町外で仕事をしなければならない人。

②やむを得ない用務で旅行、または町外に滞在しなければならない人。

「やむを得ない用務」とは、自由意志によって左右することができない用務をいいます。

③姙娠していて投票日の前後が予定日で、投票所へ行くことができなくなるかもしれない人。

不在者投票期間
十一月二十日から 十二月九日まで

不在者投票ができる期間は十一月二十日から十二月九日までの間です。

不在者投票所は、役場または町見支所で、期間中の午前八時三十分から午後五時までの間です。

不在者投票には 印鑑持参のこと

不在者投票する場合は、必要書類に印かんがいりますので必ず、印かんを持参してください。

立会演説会
十二月五日 伊方小講堂で

衆議院議員議員選挙においては公営の立会演説会が開催されますが、この立会演説会は、候補者の政見を選挙人に十分知ってもらうために行なわれるもので、県の選挙管理委員会が指定した市町村で行なわれます。

この指定市町村のなかに伊方町も含まれており、十二月五日午後六時三十分から伊方小学校講堂で行なわれますので、多数おでかけください。

有権者数
（十一月十九日現在 町選管調）

総数	六、一〇〇人
男	二、七七七人
女	三、三二三人

自然放射能の含有量分析
ミカン、海産物など調査

現在九町越では、四国電力の手によって四国で初の〝第三の火〟といわれている原子力の火をともすため、原子力発電所建設の準備工事が急ピッチで進められており九町越の姿は巨大な機械力と物量によって一変しつつあります。

この準備工事と並行して各種の調査が行なわれていますが、そのうちの一つに原子力発電所運転前の町内主要地区の土壌、飲料水、海水、果実、海産物などの中にどれだけ自然の放射能が含有されているか、それの分析をするため、調査対象試料を採収しました。

この調査は、財団法人日本分析化学研究所の分析化学第一部長、理学博士千葉盛人氏が中心になり第一回目の採収は、昨年の三月二日、四日の二日間、第二回目は今年の十一月八日、九日の二日間試料を採収し、同研究所へ送り分析されます。

町内の自然放射能分析調査試料項目と採収場所は、つぎのとおりです。

◎海水二カ所（九町港、九町越原電放水口予定地点沖）

◎飲料水二カ所（町見駐在所井戸水、九町新川）

◎米一点（九町）

◎土壌二カ所＝ミカン、夏柑園＝（九町奥、九町越敷地内）

◎ミカン、夏柑の果実二カ所（九町越敷地内、九町奥）

◎降雨水一カ所（工事用変電所）

◎松葉（九町越敷地内）

◎河川水三カ所（東柿ケ谷谷川、西柿ケ谷谷川、保内町川之石喜木川）

◎海底土一カ所（九町越原電放水口予定地点沖）

◎海産生物＝各種＝（九町越近海）

町内の一部の人たちは、原子力発電所からは、放射能が排出され本町の特産物であるミカン、夏柑や魚貝類に放射能が蓄積され、被害がでて、市場で販売できなくなるなどという声があります。

この調査は、こうした人たちの心配をなくする明確な資料にするため調査します。

原子力発電所による放射能が、前記の試料物に運転開始前の自然放射能はどれだけ含有されているのか、運転後はどうか、これを比較するうえでの重要な役割を果す調査です。

調査結果が判明のさいに、広報紙等でその数値を、町民のみなさんにお知らせする予定です。

▲ 土壌の採収

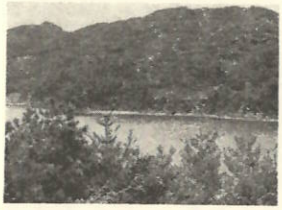
▲ ミカンの採収

◀ 河川水の採収

◇ ◇

▶ 海水の採収

松くい虫の防除
早期に薬剤散布



この近年、八幡浜、西宇和地方の松林において、松くい虫の被害が発生し、防除不足のため被害がまん延し特に、ことしは三崎半島部の三崎町、瀬戸町で甚大な被害があらわれています。（写真）

松くい虫は、初期の内に完全な駆除を行なわないと、被害はますます拡大して防除しょうにも手をつけられなくなってしまいます。

みなさんの山林で松の木が一本でも枯れていたら、つぎのような防除をれいこうしてください。

◎被害木を見つけたら、ただちに伐採し、薬剤を散布しやすいように玉切にし、枝払いをし、松くい虫の駆除剤を根株、幹、枝に散布するか、火災の危険のない場所では、皮、枝を焼いてください。

◎どうしても枯らしてはいけないお寺やお宮、防風林、公園などの松は、五月に入って松くい虫が羽化脱出を行なう時期に松くい虫予防薬剤を散布してください。

薬剤の散布方法などのくわしいことは、役場産業課まで連絡してください。

第四回菊花展

町長賞に中元林さん

伊方町、町教育委員会、町老人クラブ三者共催の第四回菊花展は十一月三日（文化の日）、四日、五日の三日間中央公民館、町見公民館の二会場で行なわれました。

町内の菊の愛好家が精魂こめて育て上げた菊花九十二点（伊方地区三十八点、町見地区五十四点）が出展されました。

両会場には、菊花独得のかおりがただよい、観覧者は一輪一輪の優雅な美しさに息わずうっとり。

ことしで第四回目にあたるこの菊花展は、町民のみなさんの手づくりにより、花を愛し育て、融和で心豊かな町民づくりにと開催したものです。

どの作品も甲乙つけがたいできばえで、特にことしの場合、技術の向上が一段と目立ち、審査にあたられた伊内町浦尾の中里直道氏が困惑する程でした。

審査の結果つぎのかたが晴れの賞に輝きましたので紹介します。

☆町長賞　中元　若松（上田之浜）
林　悦子（鳥　津）

☆町議会議長賞　渡辺　義雄（河内）
山村　サカ（鳥津）

☆町教育委員会賞　猪沢　栄（川永田）
塩崎　サノ（大　成）

☆町老人クラブ会長賞　中藤　福代（大　浜）
根来　源一（西　）

☆金　賞　中元　幸子（上田之浜）
鳥津老人クラブ

☆銀　賞　伊方中学校
中山ヨシヨ（大　成）

☆銅　賞　伊方中学校
町見中学校

……菊花の優雅な姿が観覧者を魅了……

年末の荷物（国鉄送り）

十二月十五日までに

例年のことですが、年末には贈答品などの荷物が多くなります。

国鉄では、これらの荷物を正確に、安全に速くお届けするため貨物車をふやしたり、臨時に人を雇って荷物の整理をするなど、いろいろな対策をたてています。

それでも、たくさんの荷物が一度に集まると、どうしてもさばききれなくなることがあります。

東京地方へ送る荷物は、特に早めに、その他の地方でも、おそくとも十二月十五日ごろまでには送るようにしてほしいものです。

二十日を過ぎて発送すると、年内に届かない場合もあるかと思います。

鉄道で送れる小荷物は、一個の重さが三十キログラム、大きさは長さと幅、高さの合計が二メートルまでです。

また、危険品や他の荷物を汚損するおそれがあるものや、荷造りが不完全なものは送れません。

旅行に必要な品物は、キップを買うと手荷物として送れます。

手荷物は、キップ一枚で、小荷物と同じ重さ、大きさのものを三個まで送ることができます。

乗車する日の七月前からキップを買って荷物だけさきに送れますので便利です。

荷造りは、じょうぶな箱を使って、ナワでしっかり結び、荷物の表面に届けさき、番地まで、はっきり書いてください。

荷物を駅止めにする場合は、着駅名を必ず書いておきましょう。

荷札は二枚以上つけてください。

せっかくの贈り物が年内に届くよう、十二月中旬までには発送してください。

ちびっ子紹介 (7)

上田　緑ちゃん（河内）

上田緑ちゃん（河内＝上田義勝氏長女）は、現在一年六ケ月です。

この写真は、今夏のある海岸のスナップの一コマのようです。

ヨチヨチ歩きも卒業し一段と茶目気がでた今日この頃です。

天真らん漫のこの笑顔。こちらんのように赤いセパレーツの水着が、よく似合っています。また、頭にかぶった帽子が女の子らしさをかもしだしています。

以下は、緑ちゃんの一人言「可愛いでしょう。どうですか、あたいのスタイル！」

鳥津　香代ちゃん（鳥津）

鳥津香代ちゃん（鳥津＝鳥津勝正氏五女）は、現在二歳六ケ月です。

この写真は、ことしの三月頃自宅の前で撮影したものだそうです。花模様のカバンを肩にかけ、右手に大好きなワン公を持ち左胸にはスマイルバッチが光っています。

香代さんは、元気のいい子／小さな雪をちょっぴりのぞかせユーモアな一面をのぞかせています。

あなたのお子さんも、この「ちびっ子紹介」欄にどうぞ。

三好さん金メダル2個

全国身障者スポーツ大会

湯浦の三好章一さんが、第八回全国身体障害者スポーツ大会で県代表として出場し、見事二種目優勝に輝き金メダル二個を獲得しました。

第八回全国身体障害者スポーツ大会は、皇太子殿下美智子妃、塩見厚生大臣を迎え十一月十一日、十二日の二日間、鹿児島県鴨ノ池陸上競技場を中心に行なわれたものです。

愛媛県からは十二人の選手が出場しましたが、三好さんは陸上競技の立市跳、水泳競技二十五メートル自由型の二種目に全国の精鋭と競い、晴れの優勝メダルを手中にしました。

この全国身障者スポーツ大会で二種目制覇の偉業を果したのは、本町では昭和四十四年の長崎県諫早大会での大黒操さん（大浜）についで二人目です。

三好さんは左足大腿障害者で比較的軽症の身障者ですが、スポーツ万能の持主で、日頃のスポーツ好きがとうじた好成績に結びついたものでしょう。

この近年、交通事故による身障者が激増しており、全国身障者の約四十倍にあたるそうです。

日常生活の中で交通事故防止には細心の注意をはらうとともに、不幸な身にあるこうした人たちにあたたかい愛の手をさしのべてあげましょう。

あなたのなやみごと

人権擁護委員へ

第二十四回人権週間が十二月四日から十日までの一週間行なわれます。

すべての人間が生まれながらにもっている能力を、日常の生活の中で十分に発揮して、より幸福な人生をおくるために欠くことのできないのが基本的人権です。

第二十四回人権週間を迎えるにあたり、いま一度「人権」ということについて再認識し、わたしたちひとりひとりがお互いの生命、身体、財産、生活権等の人権を尊重し合って、他の人に迷惑をかけないよう努力し、明るい住みよい社会を築き上げたいものです。

あなたが人間としての尊さが踏みにじられ、みじめな扱いを受けたとき、困ったとき、気がかりなことがおこったことなどありませんか、現在おこっていませんか。

もし、こうしたことがおきている場合、おきた場合の相談員として「人権擁護委員」がいます。

秘密は固く守り法務局などと連絡して問題解決につとめていただきますので、お気軽にご相談ください。

本町の人権擁護委員は、つぎの二人です。

小川文一郎（医師）湯浦
電話　八一〇六〇七
山口　勇（農業）二見
電話　八一八二六四

旧金鵄勲章叙賜者に銀杯

昭和十五年四月二十九日付けの支那事変生存者行賞で、金鵄勲章を叙賜された方で、昭和三十八年四月一日現在に生存されていた方に対して内閣総理大臣から銀杯が贈られます。

支那事変生存者行賞の金鵄勲章叙賜者で請求手続きをとっておられない方は、いますぐ役場民生課へ申しでてください。

請求手続きは四十八年三月末日までとなっています。

＝お　礼＝

大阪市福島区海老江上四ノ二、大江文化一号にお住いの成本一氏（二見出身）より二千円。

北九州市若松区赤島町十五の三十二にお住いの菊池重光氏（河内出身）より三千円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和47年10月末現在
世帯数　2,480戸（＋4戸）

人口　9,255人（男4,414人（＋1人）（－3人）女4,859人（－4人））

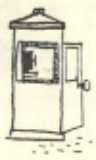
えんむすび

昭和47年10月1日
10月31日

お誕生

おめでとう

昭和47年10月1日
10月31日

おくやみ

昭和47年10月1日
10月31日